



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 アシードホールディングス株式会社  
 コード番号 9959 URL <http://www.aseed-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画グループ (氏名) 橋本 義徳

TEL 084-923-5552

四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	7,295	3.0	265	18.6	243	18.4	139	0.3
29年3月期第1四半期	7,082	5.3	223	32.2	205	38.0	138	37.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 143百万円 (73.9%) 29年3月期第1四半期 82百万円 (25.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	11.17	
29年3月期第1四半期	11.07	

平成29年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

また、平成30年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有していないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	14,579	4,445	30.5	357.22
29年3月期	13,869	4,352	31.4	349.73

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 4,445百万円 29年3月期 4,352百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		4.00		4.00	8.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		4.00		4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,400	0.0	550	4.8	530	6.6	300	3.4	24.02
通期	27,200	0.4	620	10.9	610	11.2	310	38.6	24.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	13,495,248 株	29年3月期	13,495,248 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	1,050,661 株	29年3月期	1,050,661 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	12,444,587 株	29年3月期1Q	12,516,634 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、企業収益や雇用環境の改善により、景気は緩やかな回復基調にあります。米国の政策動向に対する懸念に加え、中国をはじめとしたアジア新興国経済の不確実性により景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは企業のレゾン・デットルが高まるように、お客様に満足していただける製品・サービスを提供する「飲料製造リテイル事業」(SPA)への選択と集中を推進しております。

また、海外事業におきましては、現地のパートナー企業への資本参加や事業提携を通じて飲料ビジネスの拡大を図りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高7,295百万円(前年同四半期比3.0%増)、営業利益265百万円(同18.6%増)、経常利益243百万円(同18.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益139百万円(同0.3%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

## ① 自販機運営リテイル事業

自販機オペレーター(運営リテイル)業界におきましては、自販機ロケーションや設置台数の飽和状態が続くなか、業種・業態を越えた競争の激化や採用難による人手不足により、依然として厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当社グループでは消費者ニーズに即した付加価値の高い商品を1台に集約して提供する「アシード飲料自販機」の推進を図るとともに、アシード飲料自販機にカップコーヒー自販機とフード自販機を3台セット(フルライン)で展開する「スマートストア」に注力することで、消費者に欠かすことのできない生活インフラとして事業の推進を図りました。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は4,283百万円(前年同四半期比4.8%減)、セグメント利益は93百万円(同0.8%減)となりました。

## ② 飲料製造事業

国内の飲料市場が成熟するなか、国内外のブランドオーナーに対し、企画・デザインから製造までを一貫して提案するODM製造が順調に推移するとともに、中東や中国・香港等の海外企業からも品質面や技術面が評価され製造数が増加しました。また、成長市場のRTD(低アルコール飲料)については、地域の特産フルーツを使用した高付加価値PB商品が伸長し、計画を大きく上回りました。

なお、自社ブランドのプレミアムチューハイ「ASTER」を新発売しました。国内はもとより海外におけるプレミアムチューハイブランドとして育成し、認知度を高めてまいります。

この結果、飲料製造事業の売上高は2,930百万円(前年同四半期比17.1%増)、セグメント利益は237百万円(同18.9%増)となりました。

## ③ 飲料サービスシステム事業

近年のカフェブームやコンビニ・カウンターコーヒーのヒットにより本格コーヒー市場は緩やかに成長しております。このような状況のなか、遊技場等に対して店内のカップ飲料自販機で本格コーヒーが利用できる「アオンズ・カードシステム」の導入強化に取り組み、他社との差別化を図りました。

この結果、飲料サービスシステム事業の売上高は51百万円(前年同四半期比0.8%減)、セグメント利益は9百万円(同4.7%増)となりました。

## ④ 不動産運用事業

不動産運用事業による売上高は30百万円(前年同四半期比0.4%減)、セグメント利益は47百万円(同3.4%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,079百万円となり、前連結会計年度末に比べ823百万円増加いたしました。これは現金及び預金の増加176百万円、受取手形及び売掛金の増加323百万円、商品及び製品の増加237百万円及び前払費用の増加86百万円等によるものです。また、固定資産は8,499百万円となり、前連結会計年度末に比べ113百万円減少いたしました。これは建物及び構築物(純額)の減少15百万円、機械装置及び運搬具(純額)の減少11百万円、リース資産(純額)の減少38百万円、のれんの減少18百万円、投資有価証券の減少16百万円及び長期前払費用の減少26百万円等によるものです。

この結果、総資産は14,579百万円となり、前連結会計年度末に比べ709百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は7,881百万円となり、前連結会計年度末に比べ943百万円増加いたしました。これは買掛金の増加653百万円、短期借入金の増加90百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加43百万円、リース債務の増加42百万円、未払金の増加141百万円、未払法人税等の減少34百万円、未払消費税等の減少35百万円及び賞与引当金の減少58百万円等によるものです。また、固定負債は2,251百万円となり、前連結会計年度末に比べ327百万円減少いたしました。これは長期借入金の減少217百万円及びリース債務の減少95百万円等によるものです。

この結果、負債合計は10,133百万円となり、前連結会計年度末に比べ615百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,445百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益による増加139百万円及び剰余金の配当による減少49百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は30.5% (前連結会計年度末は31.4%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,027,429	1,203,471
受取手形及び売掛金	1,650,913	1,974,010
商品及び製品	1,173,201	1,410,312
原材料及び貯蔵品	220,407	182,703
前払費用	580,342	667,038
繰延税金資産	68,838	77,419
その他	543,972	582,500
貸倒引当金	△8,827	△18,169
流動資産合計	5,256,278	6,079,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	953,766	938,259
機械装置及び運搬具(純額)	326,444	314,959
工具、器具及び備品(純額)	19,035	18,293
土地	3,582,178	3,582,178
リース資産(純額)	1,296,397	1,257,561
建設仮勘定	11,649	20,339
有形固定資産合計	6,189,472	6,131,592
無形固定資産		
のれん	186,708	167,834
リース資産	36,787	39,991
その他	32,778	31,802
無形固定資産合計	256,274	239,628
投資その他の資産		
投資有価証券	828,069	811,973
長期貸付金	8,338	8,319
長期前払費用	871,829	845,195
繰延税金資産	142,767	145,441
その他	455,315	450,936
貸倒引当金	△138,470	△133,281
投資その他の資産合計	2,167,850	2,128,585
固定資産合計	8,613,596	8,499,806
資産合計	13,869,875	14,579,093

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,461,404	3,115,356
短期借入金	1,580,000	1,670,000
1年内返済予定の長期借入金	615,618	659,117
リース債務	481,590	524,024
未払金	747,667	889,591
未払法人税等	157,227	122,677
未払消費税等	157,012	121,332
賞与引当金	119,167	60,171
その他	618,676	719,375
流動負債合計	6,938,364	7,881,646
固定負債		
長期借入金	1,043,026	825,347
リース債務	1,094,551	998,924
繰延税金負債	5,903	8,850
再評価に係る繰延税金負債	34,464	34,464
役員退職慰労引当金	104,975	104,975
退職給付に係る負債	127,318	122,315
資産除去債務	2,800	2,800
その他	165,967	154,001
固定負債合計	2,579,007	2,251,679
負債合計	9,517,371	10,133,326
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,472	798,472
資本剰余金	1,012,778	1,012,778
利益剰余金	3,538,687	3,627,932
自己株式	△542,832	△542,832
株主資本合計	4,807,105	4,896,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,720	38,122
土地再評価差額金	△490,212	△490,212
為替換算調整勘定	10,639	1,255
その他の包括利益累計額合計	△454,852	△450,834
新株予約権	251	251
純資産合計	4,352,503	4,445,767
負債純資産合計	13,869,875	14,579,093

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	7,082,339	7,295,748
売上原価	4,394,995	4,658,799
売上総利益	2,687,344	2,636,949
販売費及び一般管理費	2,463,641	2,371,608
営業利益	223,702	265,340
営業外収益		
受取利息	1,244	69
受取配当金	4,228	3,780
不動産賃貸料	1,368	1,548
受取賃貸料	2,496	2,455
その他	7,015	7,116
営業外収益合計	16,353	14,969
営業外費用		
支払利息	21,351	17,581
持分法による投資損失	9,069	12,695
その他	3,838	6,277
営業外費用合計	34,258	36,554
経常利益	205,798	243,756
特別利益		
固定資産売却益	—	79
投資有価証券売却益	8,011	—
特別利益合計	8,011	79
特別損失		
固定資産売却損	49	—
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	49	0
税金等調整前四半期純利益	213,759	243,836
法人税、住民税及び事業税	97,488	118,024
法人税等調整額	△22,282	△13,212
法人税等合計	75,206	104,812
四半期純利益	138,553	139,023
親会社株主に帰属する四半期純利益	138,553	139,023

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	138,553	139,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,881	13,402
為替換算調整勘定	△436	△36
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,997	△9,347
その他の包括利益合計	△56,315	4,017
四半期包括利益	82,237	143,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,237	143,041

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,497,572	2,501,995	52,128	30,643	7,082,339	-	7,082,339
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,990	173,428	233	38,878	225,531	△225,531	-
計	4,510,562	2,675,424	52,362	69,522	7,307,870	△225,531	7,082,339
セグメント利益	94,072	199,760	8,933	45,848	348,615	△124,912	223,702

- (注) 1. セグメント利益の調整額△124,912千円には、セグメント間取引消去△1,533千円、のれんの償却額△2,507千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△120,871千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産(所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産を除く)の減価償却方法について、従来、定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法)を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間から定額法に変更しております。

これにより、従来の方法によった場合と比較し、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益は、それぞれ「自販機運営リテイル事業」で13千円、「飲料製造事業」で4,459千円、「不動産運用事業」で277千円、「調整額」で22千円増加しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,283,387	2,930,127	51,718	30,515	7,295,748	-	7,295,748
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,711	158,946	210	38,691	211,559	△211,559	-
計	4,297,098	3,089,073	51,929	69,206	7,507,307	△211,559	7,295,748
セグメント利益	93,338	237,531	9,349	47,427	387,647	△122,306	265,340

- (注) 1. セグメント利益の調整額△122,306千円には、セグメント間取引消去△2,226千円、のれんの償却額△2,507千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△117,573千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントの変更等に関する事項  
該当事項はありません。